

2010年6月4日

国税庁長官 加藤治彦 様

主婦連合会

会長 山根 香織

〒102-0085 千代田区六番町 15 主婦会館プラザエフ 3F

Tel 03-3265-8121 Fax 03-3221-7864

日本アルコール問題連絡協議会

会長 佐藤 喜宣

〒103-0007 中央区日本橋浜町 3-16-7-7F

特定非営利活動法人アスク (アルコール薬物問題全国市民協会) 内

Tel 03-3249-2551 Fax 03-3249-2551

加盟団体：特定非営利活動法人ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)／イッキ
飲み防止連絡協議会／アディクション問題を考える会(AKK)／(社)全日本断酒連
盟／日本アルコール・薬物医学会／日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協
会／日本禁酒同盟／(財)日本キリスト教婦人矯風会／日本禁酒禁煙協会

要望書

眞露ジャパン株式会社に対して、女子高生の飲酒コンパを思わせる「パジャマッコリ」CMの中止を求める申し入れ(別紙1)を行ない、同社から、テロップを大きくすることで対応するとの回答(別紙2)を受け取りました。その後の同社との口頭でのやりとりで、「今シーズンの放送は近々終了するが、秋以降の放送を中止するかどうかは約束できない」との返答であったため、5月27日、再度、中止を申し入れました。

この5月20日、WHOは「アルコールの有害な使用を低減する世界戦略」を採択しました。「分野6 アルコール飲料のマーケティング」では、マーケティングの「内容」と「量」の両方が極めて重要な課題(crucial issue)だとして、望ましいのは「法的規制」であり、「自主規制」措置によって適切にサポートされていることと記されています。

日本のアルコール飲料のテレビCMは、世界に比して「内容」「量」ともに明らかに過剰であり、「適切な自主規制」からは程遠い状況にあります。先日も、サントリー「ジョッキ生」についての申し入れをご報告したとおりです。

酒類産業を所轄する貴庁として、法規制を含む対策を講じるよう強く要望します。